



# 住環境プランニング科

## (4ヶ月コース)

R6. 1

### 【訓練の内容は？】

座学【4ヵ月】  
※部分的に実習

住宅構造の把握や基本設計に必要な知識と技術を身につけ、点検ポイントを抽出し、住宅の付加価値向上（リノベーション）に必要な技術を習得します。  
住宅改修の施工専門家と連携をとりながらお客様に最適な住環境計画の提案に必要な技術を習得します。

訓練の主な内容と教科目		資格取得目標
1ヶ月目	<p><b>住宅構造・法規</b></p> <p>建築物・住環境の一般知識、関係法令について習得します。</p> <hr/> <p>1. 建築一般構造 2. 建築法規</p>	
2ヶ月目	<p><b>住宅の省エネルギー・建築CAD</b></p> <p>住宅の省エネルギー基準について学びます。 2次元CADの基本から平面図や立面図といった各種図面作成に必要な知識、技能を習得します。</p> <hr/> <p>1. 住宅の省エネルギー基準 2. 2次元CADによる各種建築図面作成</p>	<p>【任意受験】</p> <p>・建築CAD検定 (2級)</p>
3ヶ月目	<p><b>既存住宅のインスペクションと点検、福祉住環境計画</b></p> <p>・施工</p> <p>既存住宅のインスペクションや現地調査・点検に必要な知識を学びます。 高齢者等に配慮したバリアフリー手法や手すりの取り付け等の施工に関する知識、技能を習得します。</p> <hr/> <p>1. 既存住宅のインスペクションと点検 2. 高齢者等に配慮した福祉住環境整備</p>	<p>【任意受験】</p> <p>・福祉住環境コーディネーター (2級・3級)</p>
4ヶ月目	<p><b>建築CAD&amp;建築3次元シミュレーション(提案資料の作成)</b></p> <p>3次元CADデータの作成やレンダリング、画像合成によるシミュレーション手法を習得します。また、CADデータのプレゼンテーション活用、ITによる顧客獲得プレゼンテーション技術・知識を習得します。</p> <hr/> <p>1. 建築3次元CADによるデータ作成、レンダリングと建築シミュレーション 2. 住宅のインテリアコーディネート</p>	<p>【任意受験】</p> <p>・インテリアコーディネーター</p>

## 【修了すると、何が得られるの？】

住宅のリフォーム、リノベーション（付加価値向上）をする際に必要となる既存住宅の点検・省エネルギー化や改修計画に関する知識、2次元CADを活用した図面作成技術、3次元CADを活用したプレゼンテーション技術の習得できます。

## 【訓練のメリットは？ 就職先での活用状況は？】

建築業界では、たくさんの工事業者が関わって建物が造られていくこと、分業化が進んでいることから、就職を決める際には、訓練の一部分に特化した工事業で仕事をするケースが多くあります。

その例として、

- ① パソコンを活用して管理、営業、積算を行う。
- ② 建築の知識をもとにCADによる図面作成をする。
- ③ デザインソフトやCADを利用して、改修工事や不動産販売の広告を作成する。
- ④ 住宅・不動産会社で建物を管理・点検・メンテナンスする仕事。

当コース訓練においては、住宅改修に限らず、住宅における設計・管理・施工の基本技術を広く学ぶことで、「多くの業種が絡み合う建築業界において、他者との意思疎通が可能になり、仕事がしやすくなる。」のではないかと考えています。 なによりプレゼンテーション技術は、他者への提案やコミュニケーションに欠かせない能力であり、幅広い職業職種において、仕事の成果を大きく左右すると考えています。

## 【どの分野に就職できるの？】

- ① 建築全般施工関係業務 …… 企画、設計、工事監理、各種専門工事等に関わる諸々の業務。
- ② 住宅リフォーム業務 …… 住宅の増改築に関わる内・外装工事等の業務およびその提案。
- ③ CADオペレータ、営業及び事務業務（建築全般の業種に関連）  
…… 関連企業でのパソコンを駆使した建築製図や設計補助、住宅改修プランに関わる業務、建築に関する営業事務。

## 【訓練によって取れる資格、および任意の資格は？】

### 【任意取得可能な資格】

#### ・建築CAD検定（年2～4回開催）〔一般社団法人 全国建築CAD連盟〕

この「建築CAD検定試験」は文字通り建築用図面を「CAD」を使って描く技量を測るもので、受験者数・規模ともに、日本では最大級と評されています。

#### ・インテリアコーディネーター資格試験（年1回開催）〔インテリア産業協会〕

インテリアコーディネーターは「どんな風に暮らしたいか」をヒアリングし、「こんな雰囲気的空間に住みたい」というアバウトな要望を具体的に住まい手のライフスタイルに合った住空間に導きます。インテリアや住宅や商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを駆使し、家具やカーテン、照明等の商品をトータルにプロデュースすることがインテリアコーディネーターの仕事とされています。

#### ・福祉住環境コーディネーター検定試験（年2回開催）〔東京商工会議所〕

福祉住環境コーディネーターとは、高齢者や障がい者に対し、できるだけ自立し、生き生きと生活できる住環境を提案するアドバイザーです。医療・福祉・建築について体系的に幅広い知識を身に付け、各種の専門家と連携を取りながら、クライアントに適切な住宅改修プランを提示します。

「“住宅関連専門職”の仕事をしたい」  
「住宅の営業や事務に興味がある」という方は、  
ぜひ！ 事前の施設見学を！